

# VMware 導入事例



## 山武市役所

地方行政の効率化を推進すべく、市町村合併を推進する動きが加速しています。千葉県東部地域においても、2006年3月に「山武市(さんむし)」が新たに誕生しました。合併に向けた取り組みを進める上では、解決すべき様々な課題も。特に問題となったのが、旧町村で利用されていたサーバ群の統合でした。そこで山武市役所様では、ネットワークが提供する「VMware GSX Server」を導入。既存の業務サーバ群を仮想環境に集約することで、次世代の行政を支える新たな業務環境を実現しています。

## 市町村合併に伴いシステム統合を実施 既存の業務サーバを「VMware」へ集約



山武市役所  
総務部 企画政策課 情報管理係  
副主査  
依田 卓爾 氏



山武市役所  
総務部 企画政策課 情報管理係  
副主査  
田中 英紀 氏

### 周辺4町村の合併により 新たに誕生した「山武市」

2006年3月27日。千葉県東部の成東町・山武町(さんぶまち)・蓮沼村・松尾町の4町村が合併し、「山武市」として新たなスタートを切った。同市の特長としては、豊かな自然環境に恵まれている点が挙げられる。

市の中央部は肥沃な土壌を持つ九十九里平野で、西側の丘陵地帯へとゆるやかにつながっていく。この周辺では農業・林業が盛んに行われており、「山武杉」と呼ばれる杉の名産地としても有名だ。続いて市の東側に目を向けると、こちらには日本最大級の砂浜海岸である九十九里海岸が広がっている。首都圏のビーチリゾートとしてお馴染みの場所であり、夏には海水浴やサーフィンを楽しむ人々の姿が数多く見られる。また同市は「野菊の墓」などで知られる歌人・伊藤左千夫ゆかりの地で、市内の歴史民族資料館には関連資料も数多く展示されている。歴史・文学愛好家にとっても、一度は訪れてみたいところと言えるだろう。

### 既存業務サーバの 統合プロジェクトに着手

市町村合併には様々な課題がつきまとうが、中でも問題になるのが情報システムの再構築だ。合併前の市町村には、それぞれに

基幹システムが存在する。効率的な業務環境を実現していくためには、こうしたシステムを効果的にまとめ上げていくことが必要だ。このあたりの事情は、民間企業が合併・統合を行う場合と全く変わらない。

しかし幸いなことに、同市役所の場合は、比較的スムーズに統合作業を進めることができた。山武市役所 総務部 企画政策課 情報管理係 副主査 依田 卓爾 氏は、その理由を「もともと旧4町村とも、基幹系の業務システムについては、山武郡市広域行政組合が提供する共同システムを利用しています。このため合併にあたっては、大規模なシステム統合プロジェクトを、自前で立ち上げる必要がありませんでした」と説明する。

もともと、だからといって、まったく問題がなかったわけではない。庁舎内には、基幹系システム以外にも様々な業務システムが存在する。そして当然のことながら、これらの業務システムを稼働させるための大量のサーバが存在している。新市発足にあたっては、これらのサーバ群をいかに集約していくかが課題になった。

山武市役所 総務部 企画政策課 情報管理係 田中英紀氏は「市町村合併の施行日までに統合を終えなくてはならないシステムについては、もちろん事前に統合を終えています。しかし合併後でも統合が間に合うシステムについては、以前と同じ状態が残っていました。旧4町村分のサーバ群をいつまでも

### 山武市

面積: 146.38km<sup>2</sup>  
人口: 60,029人(2006年6月1日現在)  
世帯数: 21,043世帯(2006年6月1日現在)  
URL: <http://www.city.sammu.lg.jp/>

業務内容: 成東町・山武町・蓮沼村・松尾町の4町村合併により、2006年3月27日に誕生。豊かな自然環境を活かし、農業や観光などの産業が盛んである。また近年では工業・物流施設の集積も進んでおり、今後さらなる発展が見込まれている。

### <パートナー概要>

#### 株式会社大崎コンピュータエンジニアリング

本社: 東京都品川区大崎1丁目11番2号  
(ゲートシティ大崎イーストタワー2階)  
設立: 1954年 1月  
資本金: 9,000万円  
売上高: 85億円  
従業員数: 300名  
URL: <http://www.oce.co.jp/>

## VMware導入事例

抱えておくわけにはいきませんので、サーバ統合は大きな課題でした」と振り返る。

そんな時に同社のITパートナーである(株)大崎コンピュータエンジニアリングから提案されたのが、ネットワークが提供する仮想サーバ環境構築ソフトウェア「VMware」であった。

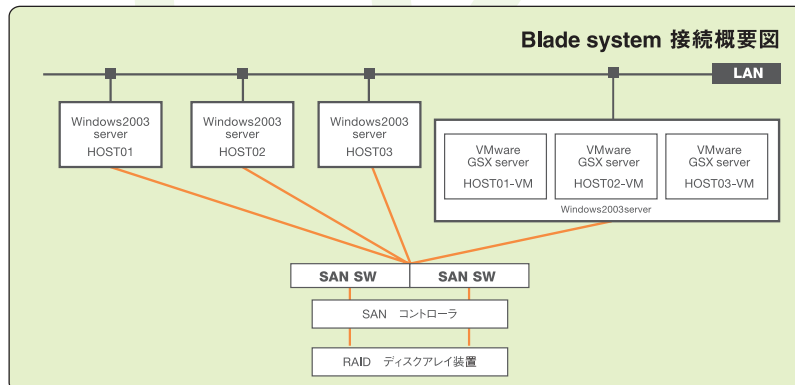
### 仮想統合のメリットを評価し「VMware」を新たに導入

VMwareの提案を受けた時の印象について、「まず気に入ったのが、仮想環境ならではの使い方ができるという点です。たとえばVMware上にテスト環境を構築し、OSに新しいパッチを当てて動作検証を行うといったことが容易に実現できる。検証が終われば環境を消せますし、場合によってはそのまま本番環境として動かすこともできます。実際のサーバを使うとなると、こうした柔軟な運用は困難ですからね」と依田氏は語る。

また田中氏は、コスト削減効果に注目したと語る。「重要性の高いシステムなどでは二重化を行う場合もありますが、物理的にもう一台サーバが必要になるため、どうしてもコストがかさんでしまう。その点仮想環境を利用できれば、サーバを増やす必要がない上に、障害復旧対応の迅速化も図れます」(田中氏)

さらにポイントとなったのが、様々なOS上で稼働する既存の業務システムをスムーズに統合できる点だ。長期間にわたって使われているシステムの中には、Windows NT 4.0 ServerやWindows 2000 Serverなど、旧バージョンのOSで構築されたものも少なくない。しかもNT 4.0などの場合、新しいサーバに載せ替えたくとも、もうドライバが提供されていないといったケースもあり得る。

しかしVMwareを利用すれば、こうした業務システムも新しいサーバへ安全に移行することができる。このような点を高く評価した同市では、今後に向けたサーバ統合のインフラとしてVMwareの導入を決断した。



### コスト削減と省スペース化に大きな効果を発揮

VMwareには「VMware ESX Server」と「VMware GSX Server」の2種類が用意されているが、今回導入されたのは「VMware GSX Server」である。これは仮想環境を利用するのが初の試みであるため、まずGSX Serverを導入して運用に慣れたいとの考えからだ。ちなみにホストOSにはWindows Server 2003が利用されている。

「業務システム統合に向けたテストフェーズとして、まずDNSサーバやProxyサーバ、ActiveDirectoryサーバなどのバックアップ用として適用を開始しました」と田中氏。以前は仮想環境に対する不安もあったが、実際にVMwareを使ってみたところ、不安は完全に解消したとのこと。田中氏は「まだ具体的な導入効果を語る段階ではない」と前置きしつつも、「現時点ではシステムの稼働状況にまったく問題は見当たりません。本格的な業務システム統合に向けて、十分な手応えを感じています」と続ける。

また依田氏も「統合対象となる業務サーバの数は、十数台以上にも及びます。VMwareによる統合が進めば、運用管理負担の軽減やサーバラームのスペース効率向上など、数多くのメリットが期待できます」とこやかに語る。将来的にはESX Serverも

導入し、より統合効果を高めていきたいとのことだ。

電子自治体への取り組みが進むなど、今後の行政活動にはITの活用が不可欠となる。お二方も「ユビキタス時代にふさわしい、先進的な市民サービスを提供していきたい」(依田氏)「ムダのない効率的な庁内業務環境を実現し、税の有効活用に貢献していきたい」(田中氏)と意気込みを語る。こうした次世代に向けた山武市の取り組みを、VMwareがしっかりとサポートしていくのである。

お問い合わせ先

 **Networld**  
株式会社 ネットワールド

E-mail: [vw-info@networld.co.jp](mailto:vw-info@networld.co.jp)  
URL: <http://www.networld.co.jp/>

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4  
オリックス神保町ビル  
TEL:03-5210-5031,5020  
FAX:03-5210-5033,5177

西日本事業所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3  
住友生命御堂筋ビル  
TEL:06-6367-5631 FAX:06-6367-5633

名古屋営業所 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3  
第2アスタービル  
TEL:052-588-7611 FAX:052-588-7610

九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1  
九勤筑紫通ビル3階  
TEL:092-461-7815 FAX:092-461-7816



この印刷物は大豆油インキ・再生紙を使用しています。

\*記載されている会社名および製品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。

2006年8月